

“研修で得たもの”

七飯高等学校 2年 成田直佳

私は今回の海外派遣の一員に選ばれ、アメリカで貴重な体験をたくさんしてきました。初めての海外、初めての飛行機……。何もかもが初めてで、どんな旅になるのかとずっとドキドキしていました。

13日、いよいよ日本を離れ、飛行機で13時間の大移動。席の間隔が狭く、足の関節がとても痛かったです。暇つぶしに映画を見ようと思ったけれど、日本語吹き替えがあまり無かったし、機内食があまり口に合わず、胃もたれを起こしてしまい大変でした。

ボストンの空港からスクールバスに乗って、コンコード・カーライル高校に着くと、ホストファミリーのギャビーとステファニーさんが外で待っていて、すぐに音楽室に連れて行かれました。私のホストファミリーは、ギャビーとお母さんのステファニーさんと、お父さんのピーエーさん、そして猫のレインボーの3人と1匹の家族で、3人とも明るく親切でレインボーはとても人懐っこく、よく私の足によじ登ってきました。

次の日の朝、私は6時頃に起きて、ステファニーさんが用意してくれた朝食（コーンフレーク、マフィン、コーヒー等）を1人で食べていたんですが、ギャビーがなかなかリビングに来ないので、どうしたのだろうかと思っていたら、家を出発する前ギリギリに来たのでかなり驚きました。カーライル高校までステファニーさんの車で行ったのですが、ギャビーは車の中でスナックやリンゴを食べて朝食を済ませていて、思わぬ所で文化の違いを知りました。



英語の授業風景

カーライル高校に着くとギャビーは私たちに学校の中を案内してくれたのですが、校内は想像以上に広く迷路のようで、1人じゃ絶対に迷うと思いました。授業中、生徒はスナック菓子を食べたり飲み物を飲んだり、Freedomな感じがしたのですが、みんなきちんと先生の話聞いて、よく発言していて、こういう授業の風景って良いな～と思いました。でも、先生がガムを食べながら授業

をしていたり、教卓に堂々と座っていたのには正直「さすがアメリカ……。」としか言いようが無かったです。

学校が終わった後は、ステファニーさんと一緒に買い物に行ったり、ギャビーが所属しているサッカーチームのゲームを観戦したりと、楽しい時間を過ごすことができました。

ホームステイ最終日には、ギャビーとステファニーさんと一緒に地下鉄に乗ってボストンに行き、たくさんの買い物をしました。ボストンはレンガ造りの建物と所々にある壁絵がとても印象的で、お店の雰囲気も素敵な町でした。いつか、ボストンに住んでみたいです。

そして、その日の夜は、日本から持ってきたふりかけとレトルトのごはんでホスト

ファミリーにおにぎりを作りました。ギャビーが「手伝おうか？」言ってきたので2人で楽しく作ったのですが、ギャビーに「海苔って何？」と尋ねられたり、「漢字と平仮名と片仮名ってどこが違うの？どうしたら見分けることができるの？」とどんどん質問されてしまい、英語で何と答えればいいのか分からず混乱してしまって、曖昧な返事しかできませんでした。日本語も英語も難しいです。

お別れの日、私はギャビーとステファニーさんとハグをして、3人で記念写真を



3人で記念写真

撮りました。ピエーさんは仕事で忙しいのか、滅多に会うことができなかったんですが、サッカーのゲームの様子と一緒に写真撮影したり、みんなでレストランに行くことができ嬉しかったです。

ホストファミリーと別れたあと、バスでボストンに行き、ハーバード大学やボストン美術館などを見ました。ボストン美術館には浮世絵や着物など、日本の芸術作品もたくさんありとて

も驚いたんですが、特に凄かったのは、敷地内に「枯れ山水」があったことでした。

日本で見たことが無かったし、ボストン美術館で見られるとは思っていなかったの でなんだか不思議な気分でした。

次の日はアムトラック鉄道に乗ってボストンからニューヨークに行きました。ニューヨークは賑やかで楽しいんだろうな～と思いながら駅を出ると、なんといきなり消防車のサイレンの音が。何事なんだと思っていると、次はクラクションの音。目の前には他の車が邪魔で前に進めない消防車が……。ニューヨークは別の意味で賑やかでいかにも治安が悪そうでした。

その次の日は、自由の女神、グランドゼロやエンパイアステイトビルや国連などに行きました。自由の女神は意外と小さく、火の部分が金色に輝いていて少し驚きました。グランドゼロは工事中で、事故の面影があまりありませんでしたが、十字架の形をした鉄骨の話聞いて何だか切なくなりました。エンパイアステイトビルでは、エレベーターで68階まで登り、ニューヨークを一望してきました。下を見ると黄色いタクシーがたくさん走っていて、とても面白かったです。

この10日間の研修は、長いようでとても短く、アメリカでやり残してきたことがたくさんありました。もっと買い物を楽しみたかったし、もっとたくさんの人と交流したかったです。そして何よりも、自分の英語力の無さをひしひしと感じました。「諸学生の時から英会話を習っているし、英検ももっているから大丈夫だろう！」と高をくくっていたけれど、いざアメリカに行ってみると、予想以上に英語が話せずとても苦労しました。けれど、アメリカの定員さんに「英語上手だね。」と褒められて、少し自信を持つことができたので、これからももっと英語を勉強して、また、アメリカに行きたいです！！